

事務事業マネジメントシート(平成29年度実績と平成30年度計画)

平成30年 9月 6日 更新

事務事業名		子ども会育成連絡協議会助成事業				☐ マニフェスト関連 ☒ 全庁横断課題関連 ☒ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政 策	2	福祉の健康			所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	栗木 清智
	施 策	4	子育て支援の充実			所属課	生涯学習課	担当者名	松本 聡一郎
	施策の柱	17	地域における子育て支援			所属班	生涯学習班	(内線)	1503
予算科目		会計一般	款 10	項 5	目 1	事業連番 10816	根拠法令	合志市社会教育関係団体活動事業補助金交付要綱 成果優先度評価結果 : ⑥ コスト削減優先度評価結果 : ⑨	
終了、開始年度		☐ 29年度で終了 ☐ 29年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	①子ども会育成連絡協議会が行う活動(スポーツ大会開催、子どもフェスティバル共催協力等)を支援するため、補助金の交付を行い、地域の子ども会活動の活性化を図る。 ②子どもフェスティバル実行委員会への補助金の交付を行い、事務局として開催支援を行う。
【業務の流れ】	①子ども会育成連絡協議会からの事業計画承認申請書受理→補助金交付内示通知書交付→補助金交付申請書受理→補助金交付決定通知書交付→補助金概算払申請書・請求書受理→補助金の支払→事業実績報告書受理→補助金交付確定通知書交付→補助金の精算 ②子どもフェスティバル実行委員長からの事業計画承認申請書受理→補助金交付内示通知書交付→補助金交付申請書受理→補助金交付決定通知書交付→補助金概算払申請書・請求書受理→補助金の支払→事業実績報告書受理→補助金交付確定通知書交付→補助金の精算
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金
【意見や要望】	少子化や加入率の低下、役員の成り手不足など単位子ども会の運営に支障が出ているとの声がある。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動) 29年度実績(29年度に行った主な活動) (DO) 合志市子ども会育成連絡協議会(単位子ども会50団体)に対して、844,000円の補助金を交付。 子どもフェスティバル実行委員会に対して900,000円の補助金を交付。		30年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) 合志市子ども会育成連絡協議会(単位子ども会50団体)に対して、844,000円の助成金を交付。子どもフェスティバル実行委員会に対して、900,000円の補助金を交付。また九州地区子ども会育成研究協議会旅費及び参加費。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア: 助成金及び補助金の額	千円	増減なし
イ:		
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位)	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
合志市内の子ども	人	→ ア: 合志市内の子ども
		→ イ:
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
地域で子どもを見守っている。	団体	→ ア: 地域のボランティア数(子ども110番の家の数、子ども会の組織数、子育てサークル、母親クラブ)
		→ イ:
*③成果指標設定の理由と30年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
子ども会の組織数・地域ボランティア数等が増え、活動が活発になれば、地域で子どもを見守る環境が整い、子育てに関する悩みは減少すると考えられる。		全体計画 ~ 年度
		0

(2)各指標・総事業費の推移										
		単位	27年度 実績(決算)	28年度 実績(決算)	29年度 目標(当初予算)	29年度 実績(決算)	30年度 目標(当初予算)	31年度 予定	32年度 見込	33年度 見込
① 活動指標		ア イ	千円 844	844	1,763	1,744	1,763	1,763	1,763	0
② 対象指標		ア イ	人 7,184	7,401	7,600	7,607	7,800	7,900	7,900	7,900
③ 成果指標		ア イ	団体 330	305	370	349	375	380	350	350
投資 入費 量	事業 費 内 訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	844	844	1,763	1,595	1,763	1,763	1,763
	(A) 事業費計	千円	844	844	1,763	1,595	1,763	1,763	1,763	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
	人件 費	正規職員従事人数	人	1	4	0	9	0	0	0
		延べ業務時間	時間	8	572	0	955	0	0	0
		(B)人件費計	千円	29	0	0	3,777	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	873	844	1,763	5,372	1,763	1,763	1,763	0

事務事業名	子ども会育成連絡協議会助成事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	生涯学習課
-------	-----------------	-----	-------------	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は29年度の事後評価、ただし複数年度事業は29年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①29年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【原因】
	②30年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 助成金の支払い事務なので向上余地は無い。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業）⇒【理由】 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に同様の事業は無い。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 補助金は必要最低限のものであり、削減は難しい。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 助成金の交付や事業実績の確認など、必要最小限の事務であるため、削減は難しい。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 市全域にわたり子どもが加入している組織や子どもに係るイベントは他には無く、助成金のレベルに相応していると思われ、公正さは保たれている。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 助成金の支払い事務は行政事務であるため適正である。

3 評価結果の総括（CHECK）

助成金の支払い事務は滞りなく実施され、合志市子ども会育成連絡協議会及び子どもフェスティバル実行委員会は事業計画どおり実施され、当初の目的は達成された。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 □廃止 □休止 □目的再設定 □事業統廃合・連携 □事業のやり方改善（有効性改善） □事業のやり方改善（効率性改善） □事業のやり方改善（公平性改善） □現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）		(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要）																						
		<table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																								